

IFEフォーラム特別講演会

レーザー技術総合研究所は、レーザー核融合エネルギー開発を支援するIFEフォーラム/レーザー核融合技術振興会を運営しております。地球温暖化につながるCO₂の排出が少なく、高レベル放射性廃棄物の発生がない核融合は将来の基幹エネルギーとして開発が急がれています。

例年、本フォーラムでは核融合に関連する様々な講演会を開催しておりますが、本年は大型ヘリカル装置による重水素実験と月面の水素資源探査に関する講演を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

1件目は、核融合科学研究所所長の竹入康彦氏による重水素実験の報告です。ヘリカル方式は磁場閉じ込め核融合としてはトカマク方式とならぶもので、トカマク方式で懸念されているディスラプション（プラズマ電流が突然切れる現象）が理論的に発生しない、核融合装置炉内機器の中で最も高い熱負荷を受けるダイバータに対し、熱負荷が少ないなどの特長のある方法です。核融合科学研究所では長年の努力の末、本年度から本格的な重水素燃料を用いた実験が開始され、成果が出て参りました。最新の結果を伺います。

2件目は、大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻の山中千博先生による講演で、月の水素資源調査に関する研究です。JAXA等では月に基地を作る場合、エネルギー源として太陽風の中に含まれる水素を利用することを考えています。太陽風の中には水素やD-³He核融合に必要な³Heが含まれていて、それらが岩石の中に太古からの蓄積で多量に入っているとわれています。資源として使えないものか、山中先生に伺いたいと存じます。本特別講演会に多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

【開催概要】

日時：平成30年3月6日（火）13:30～

場所：メルパルクOSAKA ソレイユ（4F）（最寄駅：新大阪）

大阪市淀川区宮原4-2-1 TEL: 06-6350-2111

アクセス：<https://www.mierparque.jp/osaka/access/>

主催：IFEフォーラム/レーザー核融合技術振興会

【プログラム】

◆第一講演13:30～14:20

「大型ヘリカル装置における重水素実験

～ヘリカル型定常核融合炉を目指した新たなる研究の展開～」

自然科学研究機構 核融合科学研究所

所長 竹入康彦氏

◆第二講演14:20～15:10

「月の砂漠に水を探しに ～月面微量水のレーザー同位体測定～」

大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 准教授

山中千博氏

【申込方法等】

- ・定員：70名（定員になり次第締切らせて頂きます）
- ・参加費：無料
- ・お申込：下記Websiteから申込みください。

<http://www.ilt.or.jp/forum/ife-form.html>

<お問合せ先>



公益財団法人レーザー技術総合研究所

IFEフォーラム事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

TEL:06-6443-6311 FAX:06-6443-6313